

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyousho.jp/
e-Mail info@s-koukyousho.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第474号
2022年
2月25日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面
・全国障害児学級&学校学習交流集会
・県評女性部初春のついで 角田由紀弁護士講演



人事評価結果を昇給にも活用!?!
「意欲資質の向上」「職場の活性化」どころか、同僚性を破壊する

県教委は、人事評価結果を勤労手当だけでなく、昇給にも差をつけるために利用しようとしています。来年度前期後期の2回の評価結果を、再来年2023年度の昇給に反映させ、差をつけようというものです。静岡高教組は労使協議会や交渉の場で反論し、人事評価制度そのものへの反対だけでなく、賃金に差をつけることによる意欲の向上、職場の活性化への効果自体に疑問を投げかけ、同僚性を破壊するものと反対しています。

勤労手当への活用

人事委員会勧告では勤労手当は0.95月分とされていますが、人事評価結果では表1のように、良好のBでも0.94月分とされ、S A Bの間で0.06月分の差が付けられています。さらに、昇給にも差を

表1 勤労手当への活用

Table with 2 columns: Evaluation Grade (S, A, B, C, D) and Monthly Allowance (e.g., 1.06, 1.00, 0.94)

表2 昇給区分による昇給の差
昇給区分: A 極めて良好 (5%以内), B 特に良好 (20%以内), C 良好
55歳以下: 8号, 6号, 4号
56歳以上: 2号, 1号, 0号

表3 現行の特別昇給
大卒経験 2年: 6号昇給 特別昇給II
大卒経験 8年: 6号昇給 昇給の特例
大卒経験 9年: 6号昇給 昇給の特例
大卒経験 12年: 8号昇給 定点特昇
大卒経験 14年: 7号昇給 定点特昇
大卒経験 14年 (主任経験): 7号昇給 昇給の特例
大卒経験 23年: 5号昇給 昇給の特例

表4 現段階の改定案
①基礎・向上期 (育成期間): 現行のまま
②充実・発展期: 経験12年、14年、23年で、対象者+?% (上限5%) をAとして4号加算
③深化・熟練期: 対象者+?% (上限20%) をBとして2号加算

主張

「制度はあるけれど使えない。」
短時間勤務や部分休業の取得、産育休代替の制度などについて、担当している「子育て応援カフェ」の権利学習の中でよく聞く言葉だ。

以前行なった、子育てに関するアンケートで、「妊娠している職員にとって安心して働ける職場だと思えますか?」という問いに、「一緒に働く人の理解や協力次第」と

誰もが気持ちよく働くことのできる職場にしたい
― 校長交渉から見えてきたこと ―

先日、制度に関する相談を受け、校長交渉を行う機会があった。育児休業を年度内に6か月以上取得して復帰する場合は代替講師が年度末まで配置される。これは組合などの要求で改善させたものだが、保育園に入所できず育休延長となった場合の代替未補充の心配と、年度末までの代替加配による本人の負担軽減を優先したい管理職が勧める復帰時期と本人の希望との間でズレが生じてしまった。制度の利用に関しては、本人の希望が最優先であり、それが害される

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

多くの制度は働きやすい職場を作るためにあるものであり、私たちが制御するものではない。自分や家族の生活やライフプランと合わせて上手に制度を活用し、また、その制度を本人の希望や生活に合わせてスムーズに利用できるものに改善したい。その環境を整えるためには、まず自分自身が制度を知ることが必要である。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

静岡高教組は、同僚性を破壊し、公務職場、特に助け合い支え合うことが必要な教育現場にはふさわしくない人事評価制度の賃金への反映にはあくまで反対しますが、やむなく取り入れざるを得ないならば、生涯賃金に差がつかないやり方を求めます。

視座

小学生の頃に買った本を再読してみます。スマホを数年ごとに買い替える時代、何十年も前の本が今も読めることに驚きました。「のらくろ自叙伝」のら犬黒吉のらくろの軍隊での奮闘記です。反戦思想を持ったインテリの戦友がいたり、御真影の中を覗いて上官に怒られたり、と風刺がきいています。人生は何で測るか? 同じ本を何度も読んで測ると、詩人の言葉。こんなことが書いてあったのかと、ページを捲るたびに発見があり、とても新鮮な体験でした。戦前の人気漫画、しかし、戦中は連載できず、戦後に連載が再開したそうです。この物語の最後、猿との戦争があったり、軍部内のクーデターがあったり、と少しシリアスな場面も。そして、のらくろは悟るんです。戦争が起るのには、正義は関係なく、国防も口実で、兵器産業が猛大軍にも山猿軍にも武器を売って、儲けるために、軍部を操るため。そして、軍隊の中では、兵隊は上官の命令には絶対服従、階級が上がるのが喜びで、目の前のことで一杯。のらくろは、(人(犬))の価値は階級などでは測れないことにも気づきます。なんだか現代の教育にも通じるような気がしました。政財界が、人格の完成より、「人材の育成」を優先し、学校を市場化することをめざし、文科省を操る。県は国に従い、管理職は県に従い、教職員も勤務評価を気にして管理職に従う。気づけば、学校が政財界の狩場に... のらくろは、軍を去る決意をし、世界に旅立っていきまが、我々はどこに向かうのでしょうか?

全国障害児学級&学校学習交流集会

今こそ、子どもの気持ちと発達を一番大事にした教育を ~つながりながら学び合い 未来を切り拓こう~

1月9日から10日の2日間、「第21回全国障害児学級&学校学習交流集会」がオンラインで開催され、両日ともに全国から約600人が参加しました。静岡からも10人が参加し、2カ所にサテライト会場を設けて視聴しました。

立川都さん(都教組)

「学級が子どもの居場所になる」

通常学級からの転入生が増え、被虐待や愛着障害があり、すぐにキレる子、不安一杯で自信がなく、かまっていられないのでわざと悪さをすることが多くなってきた。ダメな自分も出せてありのままの自分でいられる仲間との関係を作りたいと思いい、「子どもは発達途上だから間違っても、失敗するのが子ども

の「仕事」と声かけ。新学期には、不安な時や困ったときには、「先生、話があります」という魔法の言葉をお願いします。自分の失敗を認め、敗者復活のチャンスを作るため、お説教はせず、丁寧

に共感しながら話を聞く。「けんかしちゃったんだ」

「チクチク言葉言っちゃったんだね」と。そして、「緒に対策を考える、困っているのはその子自身だから。子どもの気持ちを理解して代弁する立場に徹し、イライラの事情を聞いて相手に説明、そうさせた本人にも気づいてほしいなと思いつつ。すると「ぼくもそんなことあるから気にしなくていいよ」との反応。

突然暴れ出す6年生のタツに対して、何があったの？と不安の原因を聞き続ける。とクラスになじめず、国語と算数難しいから無理」と初めて告白。「運動会には出ない」と言うので得意な和太鼓を先生に教えてよ」と提案。習いながら「やっぱあんたがやらな」と言う、「かけこは出る、ソーラン節の太鼓もやる、でも踊らない」と反応。

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共



「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「買物に行きたいのに行けない時にパニックを起こしたので、他の先生との買い物を提案したら落ち着いた。パニックになっても大丈夫、受け止めてくれるという安心感、誠意を込めて最後まで関わり寄り添ってくれる人への信頼感と共

に、パニックになった自分も大丈夫じゃない、と自己肯定感を持つことができた。

そんな自分も折り合いをつけようとする行動

「やりません」という言葉に、ゴーカートに乗りたいう気持ちを読み取り、乗せてみた。乗れないではなく、乗った後の姿(写真)を大切にしたい。「イヤ」の中にある「ほんとはやりたい」に気づくことが大事。

「セクハラ大国日本」なのはなぜ?①

1月29日(土)、静岡県評女性部初春のつどい&東海北陸ブロック女性交流集会が開催され、「セクハラ大国日本」なのはなぜ?と題して角田由紀子弁護士講演を聴きました。会場とオンライン参加を含め県内外から70名の参加がありました。

角田さんの高校時代の担任が女子の進路の選択肢を奪っていたことから語り起されました。当時の男性教員による女性蔑視発言(「勉強は女子のすることではない」「女子は東大に入れない」)に奮起して東大受験を決め、角田さん



角田由紀子 弁護士

の合格後は女子生徒も東大を受験するようになったそうです。しかし当時の女性たちが差別され不快な目に遭ったのはなぜ?と題して角田由紀子弁護士講演を聴きました。会場とオンライン参加を含め県内外から70名の参加がありました。

セクシユアルハラスメントという概念が輸入され、性的なまなざしで見られたり、身体を触られたりすることが人権侵害で性暴力であると認識されるようになりました。「ハラスメント」の意味はもともと「間断な攻撃する、苦しめる」という意味を持っています。日本では「セクハラ」と短い言葉にされ、訳語も「性的いやがらせ」という軽い言葉にされてしまいました。「夫婦喧嘩」と言ってしまうと両者の力の非対称性が消去されてしまいますが、男女の力の非対称性こそが、暴力を生み出しています。DVという概念が導入され、家庭で起こる強い者から弱いものへの暴力と認識されるようになり刑事罰の対象となりました。「強姦(強制性交等罪)は、加害者である男性の視点からの語ですが、「性暴力」は被害者の視点からの言葉です。認識が変わると言葉が変わるといふ相互作用が起きます。「The Personal is Political」(個人的なことは政治的なこと)のスローガンのもと、女性たちは、闘いながら「言葉」を獲得してきました。言葉は個人的な体験の集約の中から生まれます。セクシユアルハラスメントについて、日本の法律はこれを定義しておらず、禁止もしていません。そのためILO190号条約(仕事の世界における暴力とハラスメントの撤廃に関する条約)の批准ができません(副執行委員長 前田浪江)



白石先生

「障害のある子どもの発達に学ぶ」白石先生のソフトな関西弁が心地よく、寛いだ雰囲気です。講義の始めは、生物の遺伝情報の発現としての成長(生長)と、内なる可能性を開く「発達」との違いを明確にし、その発達保障は「障害者の権利条約」第24条に「障害のある人が、その人格、才能、創造力並びに精神的及び身体的な能力を可能な最大限まで発達させること」と謳われていることや、糸賀夫の「この子らを世の光に」の思想の紹介により、発達の理念を再確認できました。障害のあるなしに関わらず人間には本質として、「より良い自分になりた」という「発達要求」があります。それが思い通りにいかない時に教育支援が必要ですが、保育園児の動画を通して、発達の質的転換の節目にあたる時の子ども戸惑いと、それ乗り越える変化を具体的に解説されることで、子どもが人間関係の中で発達していく姿を目の当たりにすることができました。他者の存在を認め(区別)、今の自分とは違う存在を受け容れ(対比)、中間的なあり方を身に付けて関係の中で生きようとする(系列)発達段階を理解していることが重要です。教師は子どもの思いをどうと受け止める存在であるべきこと、戸惑いで現れる行動を否定的に見るのではなく、失敗を何度も受け止められることで子どもは壁を乗り越えること、このプロセスを用意することが教育であることと改めて学び直しました。自閉症児へのアプローチに関しても「自他の関係が作られたときに同性保持が乗り越えられる」という話は、「発達」がいかに社会的共同性のものである、「自分と他者との関わり合いを通して相互の人格や個性を形成する」ものであるかを再認識できました。結びの「私達大人も発達の長い道程を歩き続け、これからも歩く」という言葉に強く共感し、教育の基本を改めて実感した次第です。(西部特支 田井陽子)